



本校の人権教育取組の概要(平成27年度)

群馬県一の大規模小学校だから
「あいさつも群馬県一」にしよう
↓
「思いやり群馬県一」をめざして
↓ (平成25～)
児童会スローガン (平成26～)
「つなげよう、広げよう、優しさの輪」

平成26・27年度
文部科学省
人権教育研究指定校

前校長が東日本大震災のボランティア活動でいただいた2粒のひまわりの種を育てる(平成23～)
↓
「復興のひまわり」(平成24～)
↓
「みんなで続けよう未来の種プロジェクト」(平成26～)



研修主題

「思いやる心を持ち、協力して学びとる児童の育成」
～多様な価値観に着目し、他者とのつながりを重視した活動を通して～

I 研究の見通し

○人間関係づくり

人間関係を構築する場面において、学級における人間関係の実態や課題を把握し、教師だけでなく児童とともに学級経営を充実させる手立てや、児童が主体的に活動する「思いやり運動」などの手立てを取り入れれば、望ましい人間関係を構築し、安心して生活や学習ができる良好な学級・学校づくりができるであろう。

○授業研究

日々の授業において、人権教育とのかかわりを明確にした一人一人を大切にする授業の実践や、他者とのかかわりの中で学び合い、話し合い活動の充実を図りながら授業改善を推進すれば、互いのよさや自分らしさを発揮し、友だちと協力しながら主体的に学習に取り組む児童を育成できるであろう。

○調査・環境整備

各学年・学級の実態を調査・分析し、明確になった課題を教師と児童で共有し、解決するための手立てを考えたり、人権感覚を磨く言語環境や掲示物などの教室環境を整備したりすれば、自他を尊重し、他者と協力しようとする意欲を高めることができるであろう。

上毛新聞(平成27年10月9日発行)



II 本校における人権教育目標

○人権教育基本方針（「群馬県人権教育の基本方針」2学校教育においてはより）
 子どもの発達段階に即し、各教科の特質に応じ、全教育活動を通じて、生命や人格を尊重し、他人を思いやるなどの豊かな人間性を育成する。

○人権教育目標

日常的・体験的な活動を通して、人権を相互に尊重し合う子どもの育成に努める。

○学年別人権教育目標（人権集中学習のねらい）

- 1年 いじわるをしないで、友だちと仲よく遊べる子
 - 2年 仲間はずれをしないで、だれとでも仲よくできる子
 - 3年 友だちの言うことをよく聞き、楽しく明るい仲間づくりができる子
 - 4年 みんなの話をよく聞き、それぞれの立場を考え、認め合える子
 - 5年 自分の言動に責任を持ち、他人の立場に立って、あたたかく接する子
 - 6年 自分の言動に責任を持ち、周りの人を大切に、公正・公平にふるまえる子
- 特支 人の話をよく聞き、みんなと仲よくできる子

III 本校の人権教育で育てたい能力・態度

	本校の人権教育で育てたい能力・態度	目指す児童の姿		
		低学年	中学年	高学年
感性	自他の生命の尊さ（気付き、だれにとっても居心地がよい雰囲気を感じる）ことができる。	教師からの指示や友だちの意見を聞き入れることができる。	相手の立場や気持ちを考え、相手の意見を大切にすることができる。	自分の考えを大切にするとともに、他者の意見を尊重し、共感することができる。
知性	互いのよさや違いを認め、多様な価値観を理解する。多様な価値観を尊重し、他者と一緒に生きていくことができる。	友だちの考えをよく聞き、仲よく活動している。	友だちの意見を聞き入れ、自分の考えと比較している。	自分と違う考えの中にもよさを発見し、協力し合ったり、協力し合ったりしている。
技能	集団における規律を学ぶとともに、望ましい人間関係づくりの基礎となる伝え合う力を身に付ける。	学習ルールを身に付けている。 教師や友だちの話をよく聞いた後、自分なりに話したりしている。	学習ルールを守っている。 友だちの考えと自分の考えを比べて、自分なりに話したりしている。	学習ルールの意義を理解し、守っている。 相手の立場を考えて、内容を納得しながら話している。
判断力	他者の考えや情報を踏まえ、自分の知識や経験をもとに、公正・公平に判断する。	自分の考えをもち、友だちの考えと比較することができる。	友だちの考えや意見を聞き、自分の考えと比較し、違いを認め、違いを認めることができる。	他者の考えや情報と自分の考えを比較し、よさを取り入れて、自分の考えを深めたり広げたりしている。
実践力	自分だけでなく、だれにとっても過さず、進んで行動しようとする。	友だちの意見を聞き止めて反応（うなずき、拍手・ハンドサインなど）することができる。	友だちの意見を聞き止めて反応（うなずき、拍手・ハンドサインなど）することができる。	グループ活動や話し合い活動の中で、友だちの意見のよさを認めながら、自分の意見を述べることができ、問題を解決することができる。

IV 研究実践

1 人間関係づくり部会の取組

(1) 安心して生活や学習ができる良好な学級・学校づくり

① Q-U調査の実施とK-13法の全学級実施（教師主体の活動）

【平成27年度笠懸小学校】学級別取組表（6年）

学年	学級	取組内容	取組方法	具体的な取組
1	笠懸小学校 6年 1組	「学級をよきにする目標」を掲げ、その目標に向けて自分から発言し、意見を述べ、意見を認め合えるよう取り組む。	一人ひとりに目標の達成を促す。自己発覚を促す。また、意見を認め合えるよう取り組む。	「学級をよきにする目標」を掲げ、その目標に向けて自分から発言し、意見を述べ、意見を認め合えるよう取り組む。
2	笠懸小学校 6年 2組	「学級をよきにする目標」を掲げ、その目標に向けて自分から発言し、意見を述べ、意見を認め合えるよう取り組む。	一人ひとりに目標の達成を促す。自己発覚を促す。また、意見を認め合えるよう取り組む。	「学級をよきにする目標」を掲げ、その目標に向けて自分から発言し、意見を述べ、意見を認め合えるよう取り組む。



K-13法の様子

「自分の学校は自分達でつくる」「自分の学級は自分たちの力でよりよくする」という 自治的・自発的活動意欲を高め、何事も話し合って解決できるように、
 ①教師主体の人間関係づくり
 ②学級経営の充実
 ③教師と児童による学級経営参画（「学級パワー」）
 に重点をおいて実践した。
 これらの取組により、「児童が児童を育てる」という互いに高め合う集団の育成につながってきた。また、同時に、学級や学校全体が明るく活気づき、児童の積極的な行動も増えてきた。

学級別取組一覧表

② 学級経営の充実（教師と児童の学級経営参画）

【児童の思いや願いを生かした学級活動】



議題箱の設置



学級目標を目指した係活動の設定



係からのお知らせコーナーの設置

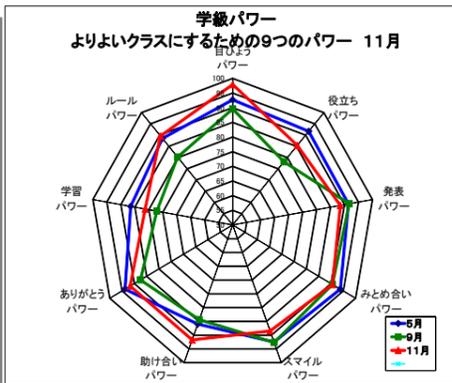


児童の思いが詰まったカレンダー

③ 学級パワー（教師と児童の学級経営参画）

学級パワー（一例）
 よりよい学級にするための9つのパワー

- A・目標パワー（みんなで目標を持つ）
 - ・役立ちパワー（学級のためになることをする）
 - ・学級のよさ発見パワー（学級のよいところを見つける）
- B・発言パワー（積極的に発言する）
 - ・認め合いパワー（友達のよいところを認め合う）
- C・助け合いパワー（友達と教え合い・助け合いができる）
 - ・ありがとうパワー（「ありがとう」「大丈夫?」「がんばったね」がすぐに言える）
- D・学習パワー（一生懸命に学習する）
 - ・ルールパワー（みんなが決めた約束を守る）



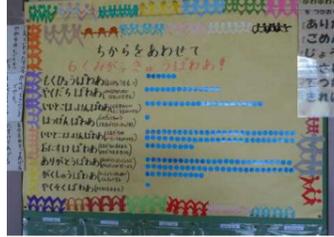
「学級パワー」とは、新潟大学教育学部付属新潟小学校の「学級力」アンケートを、児童の実践意欲を高めるために本校なりに指標をネーミングして6年前から実践している取組である。
 今年度は、児童と教師の学級経営参画のために全校で重点的に実践した。
 ①よりよい学級についての話し合い
 ②アンケートをレーダーチャート図で提示・分析
 ③パワーアップ活動を計画
 ④パワーアップ活動の実践・振り返り・認め合い
 ④アンケート 繰り返し
 児童がよりよい学級づくりに関心をもち、自ら学級経営に参画することで、児童の願いや思いを生かした学級づくりにつながった。



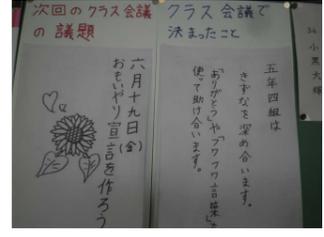
学級ルール（4年）



学級パワー（3年）



学級パワー（1年）



クラス会議（5年）

(2) 児童

主体の活動の強化（自主的・自治的な活動）

① 代表委員会を中心とした「思いやり運動」

【あいさつ運動】

【思いやり集会】

【児童一人一人の思いやり宣言の作成】



あいさつカード



代表委員会



交通安全委員会



思いやり宣言

② みんなで続けよう未来の種プロジェクトPart4

JRC委員会では、平成24年5月より「復興のひまわり」の活動に取り組んでいる。東日本大震災の被災地から譲り受けた2粒の種を校内に蒔き育てていく活動を通して、豊かな心を育成していくことをねらいとしている。昨年度からは、ひまわりの種のルーツや、そこに込められていた思いを振り返り思いやり・助け合いの心を広げていくことをねらいとした「みんなで続けよう未来の種プロジェクト」に取り組んでいる。花壇には、各学級で育てたひまわりが美しい花を咲かせ、収穫した種は各家庭や地域に配布した。

今年度は、昨年度配布したひまわりの種2万5000粒が、地域のひまわり畑で花を咲かせることになった。10月10日の「ひまわりの花畑まつり」には、本校の代表としてJRC委員会・代表委員会・有志児童が参加し、ひまわりの種に込められた思いや願いを発表した。

本校は、4年前から重度の脳性まひを抱えながらも詩を書き続けている宮城県在住の大越桂さんとの交流を続けている。交流を続けていく中で本校の活動を知った大越さんは、本校の活動を応援するために「ひまわりの花畑」という詩を書いてくださった。「ひまわりの花畑」の詩は、本校に届けられると同時に、株式会社「サカタのタネ」(横浜市)にも届けられた。サカタのタネは、「お花の力で日本を元気に!!希望のタネをまこう」という活動を行っている会社であり、大越さんから届いた詩を、ひまわりの種の袋に印刷して配布した。本校のために作られた大越さんの詩が全国的に広まっていった。その後「ひまわりの花畑」は、桐生市を拠点に活動する音楽ユニット「ポアゾン」によって曲となり、歌われることとなった。「ひまわりの花畑」は、本校の第2の校歌として全校で歌っている。

思いやり・助け合いの心を広げていくために行ってきた本校の活動が大きな花を咲かせたといえよう。



みんなで続けよう未来の種プロジェクト開始式



ひまわりの花畑まつり(平成27年10月10日)



みんなで続けよう未来の種プロジェクト報告会



株式会社「サカタのタネ」

③ 思いやりを意識したその他の委員会活動

今までの組織として、例年通りの仕事をする委員会活動から、児童の願いや思いを生かした児童主体の委員会活動へ意識を改革した。「よりよい学校にするために自分たちでできることをやろう」「自分たちの学校は自分たちでつくろう」と意欲が高まり、児童主体の委員会活動が展開できた。



低学年児童との交流(集会委員会)



低学年への読み聞かせ(図書委員会)



思いやりを意識した放送(放送委員会)

(3) 異学年交流の実践・記録(調査・環境整備部会との連携)

調査・環境整備部会が児童に対して行った第1回自己振り返りアンケート(6月実施)結果において、本校の課題として「自分が誰かにしたこと、その人に喜ばれたことがある」の項目の肯定的な回答が昨年度に引き続き低い結果となったことが挙げられた。他者へのつながりを重視した活動として縦割り活動を行うことが効果的であるが、本校の実態を考えると活動を行うには無理が生じてしまう。本校なりの異年齢集団のかかわりとして、今年度は、調査・環境整備部会と連携して異学年交流の計画的な実践に取り組んでいる。

各学年の年間指導計画の中から、他学年との交流活動が実施可能な単元を調査・環境整備部会で企画・提案し、本部会で具体的に実践し、記録を残している。

上級生は、下級生に教えることを通して自己有用感を高めることができ、教えてもらった下級生は上級生のようになりたいと憧れを抱くようになった。「児童が児童を育てる」活動として今後も計画的に実践を進めていきたい。



手話を教わろう(下学年・6年)



2年生と学校探検(1年・2年)



ソーラン節を教わろう（5年・6年）

リコーダーを教わろう（3年・6年）

福祉交流会の様子を聞こう（4年・5年）

一緒に歌おう（2年・4年）

(4) 保護者への啓発

人権だより 笠懸小学校 第1号
 ～つなげよう ひろげよう やさしさのわ～
 H27/6/1 (月)

委員会活動で思いやりの輪を広げていきます！

1・1日の児童集会では、委員会紹介が行われました。各委員会の委員長が、委員会活動の中で行える思いやりについて発表しました。高学年を中心に思いやりの輪を下級生へ、そして学校全体へと広がるように活動をしていきます。各委員会の笠小をよりよくしていくための思いやりの紹介をします。

代表委員会 あいさつは思いやりの第一歩。 笠小を群馬県一思いやりのある学校にしていきたいように。	体育委員会 一輪車を使った人は、きれいに元の場所にもどしてください。楽しく安全に運動ができるようがんばります。	校務委員会 笠小を花いっぱいにするために、花を植えたり、水をあげたりしています。花を大切にしてください。	養護委員会 みなさんが毎日使う学校なので、もし教室や廊下などにゴミが落ちていたら拾えるようにしましょう。
給食委員会 給食を作ってください調理員さんに感謝の気持ちをもって、何でもよく食べ、楽しい給食にしましょう。	掲示委員会 学校の掲示物が整うと、みなさんの心も癒えます。掲示物が乱れていたなら、きれいに直すか掲示委員に伝えてください。	JRC委員会 ひまわりの種を各クラスで大切に育ててください。ひまわりの花のように、皆さんも明るく過ごしましょう。	掲示委員会 思いやりのある学校にするために「ふろし敷」活動をしています。
保健委員会 心も体も健康で思いやりあふれる学校になるよう活動したいと思っています。廊下は走らないでください。	交通安全委員会 みんなが安全に登校できるように、自分以外の人の気持ちを考え、二列ではなく一列で来てください。	図書委員会 笠小のみなさんが本を好きになれるように、1年生から3年生までに読み聞かせをします。	放送委員会 みなさんが毎日通るようになり、送迎を心がけています。思いやりいっぱいの放送をしていきます。

人権だより 第1号

(5) スクールカウンセラーとの連携

こちら かも池相談室 みどり市笠懸小学校
 H27.9 (No.3)

笠懸小学校の皆さん、こんにちは。夏休みはどうでしたか？楽しかった、あっという間だった、早く学校に来てみんなに会いたかった...それぞれ感じていることがあると思います。2学期はたくさん行事があって楽しみもあり、それだけに疲れることも多いかもしれません。心が疲れてしまった時には、ぜひ聞いてみてください。何か話したいと思った人は、どんな内容でも聞いてあげるので相談してください。

カウンセラーが学校に来る日

- 毎週水曜日 あさ9時～ゆうがた5時まで

● 相談したいな、という人はまず担任の先生や保健室の先生か養護先生に伝えてください。
 ● お手紙を書いて、かも池ポスト（職員室前の新しいポスト）に入れてもOKです。

保護者の方法
 相談希望の方は、事前に学校へ電話をしてください。(0277-76-2100・養護教諭の斉藤・安田へ)
 「事前に電話をしていないけど、やっぱり今日行きたい」という方も家を出られる前に学校に電話をしてください。

子育てのヒント集 ～親としてあなたならどうする？～

<問題>
 勉強、運動、お手伝い、生活習慣、しつけなど、いろいろな面で、親は子どものために様々な働きかけや指導や指導をします。でも、なかなか結果が出ないときもあります。あなたはどう思いますか？

A. 結果が大事だから、大いに結果にこだわるべき
 B. 結果が大事だから、少しは結果にこだわるべき
 C. 結果にはこだわらないほうがいい。

答えは裏面です。

こちら かも池相談室 (表面)

2 授業研究部会の取組

① 一人一人・一単位時間を大切に授業の実践

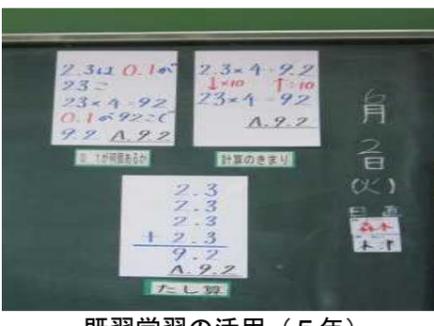
授業のユニバーサルデザイン（焦点化・視覚化・共有化を図る）



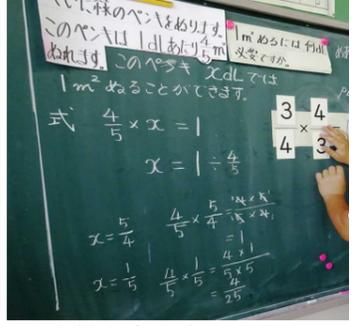
落語家になりきって（4年）



ネームプレートの活用（4年）



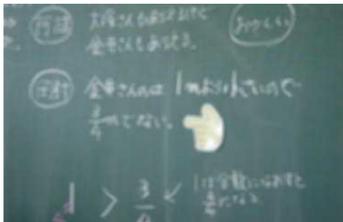
既習学習の活用（5年）



多様な考え方（6年）

○本時の学習のねらいの達成・自分の言葉で振り返り

○分かりやすい指示や提示の工夫をする（耳・目・心身など、複数の感覚器官の活用）

耳（聴覚から）	目（視覚から）	心身（態度から）
○一度に一つ指示を出す（短くシンプルに） ○簡単明瞭な言葉で（児童の知っている言葉） 	○板書併用（指示・手順〈番号付け〉・写真・絵・具体物・拡大コピー・色分け・ICTの活用） 	○机上の整理 ○聞く時の姿勢 ○待つ時に何をするか知らせておく ○動き併用（立たせたり、目をつぶらせたりする） 
○声の抑揚をつける（トーンを変える） ○指示の場所を変える 	○学習の流れを提示〈番号付け〉（ねらい・活動内容・ゴール） 	

○児童に指示を
言わせる（つながり発言）



○実物、動
作を示しながらの指示
（演示や例示
を見せる）



○「〇時〇分まで」活動のめやすを児童に考
えさせる（タイマーを利用）

○指示（活動の方法・時間・手順）の予
測をさせる

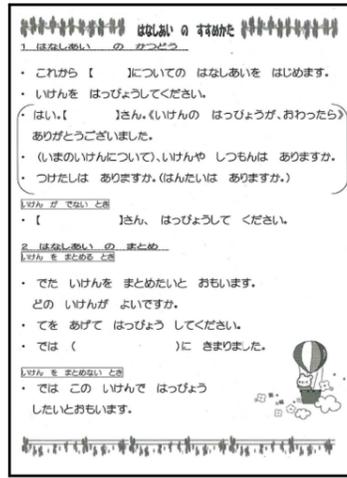
② 他者とのかかわりの中での学び合い・話し合い活動



つながりマップを活用した話し合い



ハンドサインによる討論（４年）



話し合いの進め方（学級会利用）	話し合いの進め方（学級会利用）	話し合いの進め方（学級会利用）
1 はじめの言葉 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
2 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
3 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
4 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
5 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
6 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
7 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
8 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方
9 話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方	話し合いの進め方 話し合いの進め方



ディベート形式の話し合い（５年）

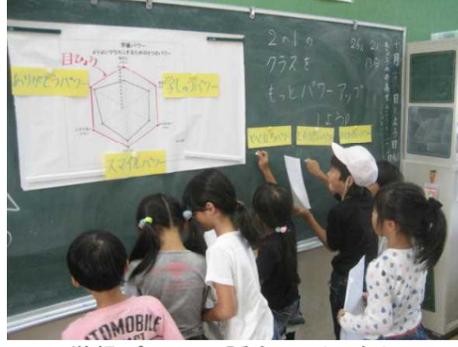


つながり発言（６年）

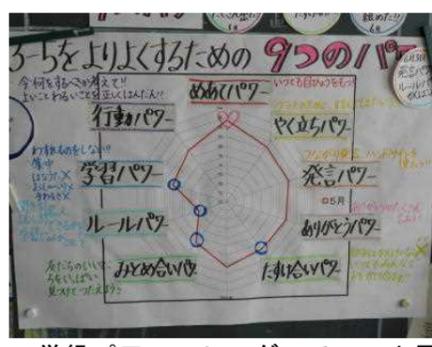
③ 道徳・学活の授業の充実



役割演技（２年道徳）



学級パワーの話し合い（２年）



学級パワー レーダーチャート図



学活「運動会に向けて」（６年）



学級会 計画委員（４年）



学級会で話し合う児童（４年）



「ワールドカフェ」で対話



カードに記入

(2) 授業力・教師力の向上

① 「教師力パワーアップ作戦」

【教師力パワーアップ作戦の具体的な取組】

- 教師間の授業参観と授業参観シートの活用
- 模擬授業と授業検討の積み重ね
- 一人一人の目標設定と検証（調査・環境部会と連携）
- 「ワールド・カフェ」

② 教師の人権感覚育成のための研修

- スクールカウンセラーによる教育相談についての講義と演習
- みどり市教育委員会指導主事による道徳模擬授業と講義



指導主事による授業づくり研修の様子

指導主事による模擬授業の様子

3 調査・環境整備部会の取組

(1) 児童一人一人を大切に作る指導者集団の確立

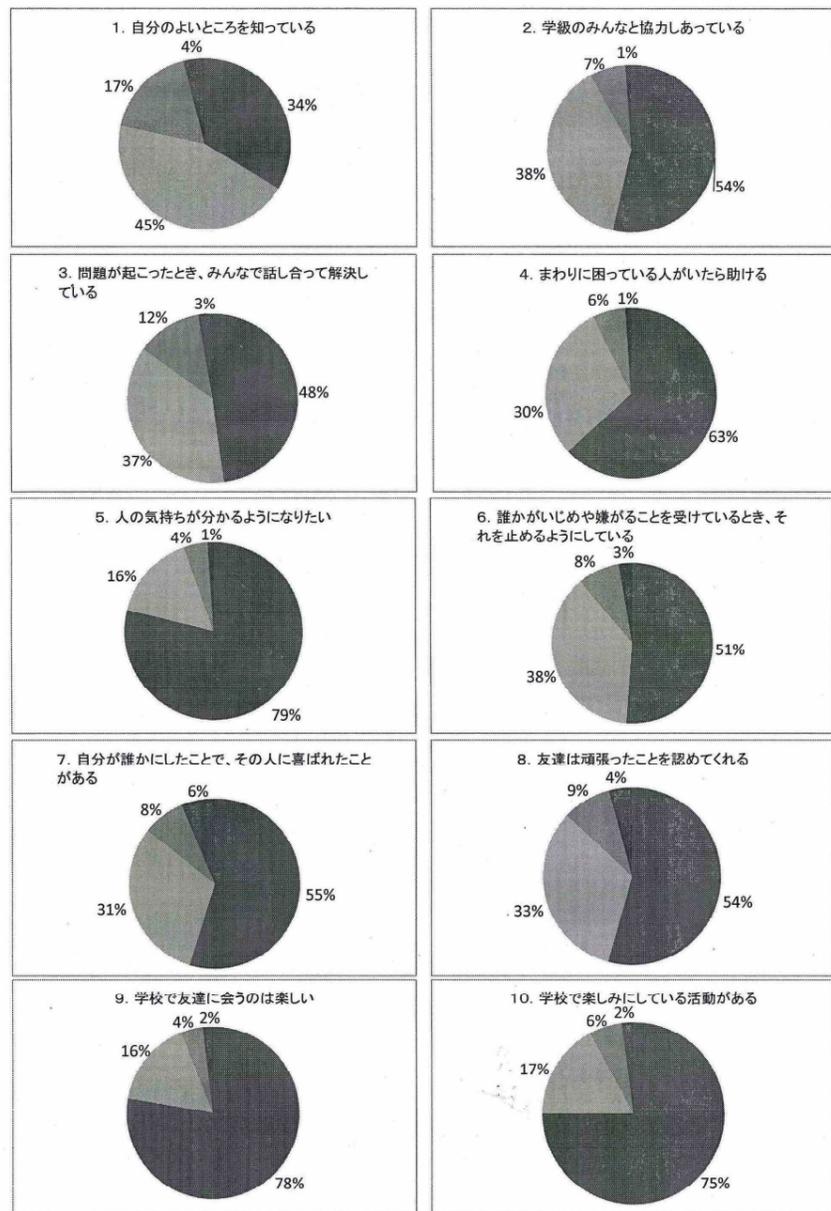
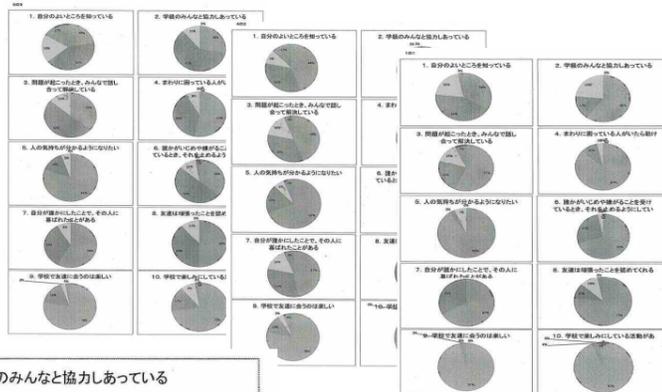
教師力パワーアップ作戦（左：全職員一覧表より抜粋、右：職員室内の掲示物）

人格・品格を磨き、控えめな言動を心掛け、チーム笠小をリードできる存在になりたい。
 教職員や児童一人一人の存在を大事にし、だれに対しても笑顔で共感的に接していく。
 人に迷惑をかけないように、一つ一つの確認しながら仕事を進めていく。
 先を見通して仕事を推進、厳選する。
 いつもここにこ、気持ちをとおらかに笑顔で対応！
 一人一人が自己肯定感を感じ、進んで表現できる授業の工夫。（ペア学習、体で表す、エ
 児童一人一人が自分の良さを発揮し、すすんで発表できる授業の工夫。
 自己肯定感を高められるようなプラスの声かけを心がけていきたい。
 子どものやる気を引き出すための声かけ、褒めるなどを意識していく。
 子どもの声に耳を傾け、子どもの発言で授業が展開するのをこころがける。
 児童が楽しく生活・学習ができるように支援をしていきたい。
 児童の話をよく聴き、観察して、児童理解に努める。
 プラス思考で、わかること・できることが楽しいと感じる学習指導。
 できた喜び、やりたい意欲をもたせる学習指導。
 まず教師の笑顔！そして目を輝かせて「やってみよう」と思わせるような学習の導
 「やってみよう」「できそうだな」「できた！」と思わせる学習指導の工夫。（課題提
 学び合いを基本軸に、子どもを引きつける授業展開。
 児童一人一人が「できた」という自信を持てる学習支援を目指す。
 学級目標の達成目指してみんなで助け合う学級経営。
 「わかった」「もっと知りたい」と思える学習指導。
 児童の自己肯定感を高める学級経営。
 ICTを活用し、児童の興味を引きつけてわかる授業の実践。
 自己肯定感を高め、何事もみんなで協力しようとする笑顔あふれる学級経営。
 一人一人を大事にするとはどういうことか初任者の先生とともに考えていく。
 子どものパワーを引き出そう！負けないぞ～「どすこい」
 メリハリがあり、かつ子ども同士が互いのこと大切に出来る学級経営。
 児童が自分たちでクラスを高めようと、友だちのことを考えた言動ができる学級経営。
 導入・展開・まとめの流れがある授業を行う。（特にまとめの時間を意識する。）
 「学校に来てよかった」「頑張ってきた」という実感を児童が得られるような学
 先生方に「やってみよう」と思ってもらえる研修を提案する。
 認め合い、教え合い、高め合い、3人で愛あふれるクラス作り
 児童の多様な考えを引き出す発問の工夫やノート指導などの基本的な授業のスキルを
 児童が多く場面達成感を感じることができるよう、スモールステップを意識した授業作り。
 豊かな人間関係（児童自身が気づき、考え、実践することのできる人間関係）を形成するための学級づくり。
 社会科の授業に役立つ情報などを紹介し、先生方の社会科の授業力向上の一助となる。
 「分かった」「できた」「もっとやりたい」を児童から引き出せるような授業作り。



職員室に掲示した全職員の目標

(2) アンケートの実施と結果の分析



自己振り返りアンケート結果（全校児童）

自分自身を振り返ろう			
高学年	年 組 番 名 前	とても 思う	あまり 思わない
自分の大切さ			
① 自分のいところを知っている(気づいている)。		1	2-3-4
② 学級の人々と協力し合っている。		1	2-3-4
③ 問題が起きたとき、みんなで話し合って解決している。		1	2-3-4
④ 周りに困っている人がいたら助ける。		1	2-3-4
⑤ 人の気持ちがわかるようになりたい。		1	2-3-4
社会的な行動			
⑥ 誰かがいじめやいじめがらむことを受けているとき、それを止めるようになっている。		1	2-3-4
休日の事実等			
⑦ 自分が誰かにしたこと、その人に喜ばれたことがある。		1	2-3-4
⑧ 友だちは、がんばったことを認めてくれる。		1	2-3-4
学校について			
⑨ 学校で、友だちに会うのは楽しい。		1	2-3-4
⑩ 学校で、楽しみにしている活動がある。		1	2-3-4

自己振り返りアンケート（児童用）

人権感覚チェック 教師用 5月21日 第1回 実施

氏名 (※「はい」「いいえ」を○で開んでください。)

期 の 会	はい	いいえ
1 朝の健康観察で、児童一人一人の名前を呼んでいますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 欠席や遅刻を早めに把握し、対処していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 遅刻した児童や前日に欠席・早退した児童に言葉かけをしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
校 友 関 係		
4 児童の交友関係を把握していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 仲間はずれや嫌がらせ、暴力などを把握し、すぐに対処していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
給 食		
6 「いただきます」「ごちそうさま」など食材になった動植物の生命や調理した人への感謝の気持ちがあるような言葉かけをしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 配膳や片付け等でいやな思いをする児童がいないように気を配っていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
精 進		
8 児童と一緒に清掃を行っていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 仕事の分担が公平になるように、気を配っていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
朝 日 の 意 義		
10 明日の意欲につながるような言葉かけをしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授 業		
11 授業の開始、終了時刻を守っていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 空席の児童の確認をしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 誰もが設備・器具等を公平に使えるよう配慮していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 教師の期待とずれている児童の発言や答えを尊重しようとしていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15 支援が必要な児童に対して、「どうしてこんな簡単な問題ができないのか」などと言っていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16 児童が失敗したとき、それを笑う者がいたら黙って、注意していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
児 童 へ の 接 し 方		
17 一人一人の顔を見て、名前に敬称(「さん」「君」)を付けて呼んでいますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18 児童同士の相手を罵倒する言葉や暴言、あだ名を見逃し、黙認していませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19 児童の話を親身になって聞いていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20 児童を指導する際、「だからおまえはだめなんだ」など人格を否定するような言葉を使っていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21 失敗が多い児童を、先入観で悪く評価してしまうことはありませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22 兄弟姉妹と比べて、ほめたりけなししたりしていませんか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23 児童の欠点を見つけようせず、よさに目を向けるよう努力していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24 「できるようになったね」「がんばっているね」などと児童の努力を認める言葉かけに心がけていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
環 境 整 備		
25 教室や廊下の黒板や掲示物に落書きはないか気をつけていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26 一人一人を大切にしたい掲示物を心がけていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
そ の 他		
27 文書や懇談会などで使う言葉について配慮していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28 個人情報の管理はしっかりできていますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

☆チェック後の振り返りとして、今年度の自己の取組でチャレンジしてみたいことや改善を図りたいことなどをご自由にお書きください。「教師力パワーアップ」の個人目標ともあわせて考えていただき、率直なお考えを書いていただければと思います。

人権感覚チェック（教師用）

(3) 人権感覚を磨く掲示物等による環境整備

① 児童主体の思いやり発信の場「ニコニコ掲示板」

今年度は各学年・各学級の授業や行事の活動について「思いやり」や「認め合い」などの人とのつながりに視点を当てて紹介する掲示物を、児童が主体となって作成することにした。児童が自分たちの活動を自分たちの言葉で紹介し、児童の目線で感想を表すことで、その掲示物を見る児童は、より親しみを感じることができるのではないかとされる。また、児童による手づくりの掲示物は、廊下を温かい雰囲気にするとともに、掲示物を大切にしようという心の育成にも役立っている。



児童の気持ちをわかりやすい言葉や絵で表している（1年）



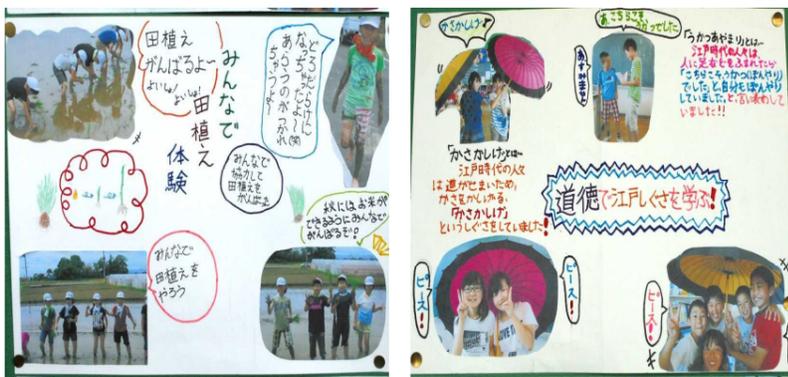
異学年交流の「うれしい」「楽しい」という気持ちが現れている（2年）



学級活動や学校行事を楽しく紹介（3年）



福祉体験や行事について、児童から発信したいという意欲の向上（4年）



田植え体験や道徳の学習について（5年）



未来の種プロジェクト（復興のひまわり）、思いやり宣言について（6年）



ニコニコ掲示板を楽しむ児童



掲示物を楽しみにしている児童

② 学年掲示板の充実



4年の取組紹介

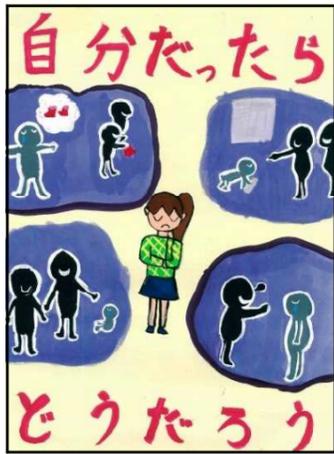


5年の取組紹介

③クラブ・委員会活動における取組



思いやりポスター（絵画クラブ）



保健委員会の掲示物



集会委員会のニコニコろう下

(4) 異学年交流の企画・提案（人間関係づくり部会との連携）

4 学年部会・教科部会の取組

(1) 人権教育の全体計画・学年年間指導計画の整備・改善

(2) 人権集中学習の充実

児童会が呼びかける「いじめ防止キャンペーン」も合わせて実施

(3) 人権教育に関連する体験活動・福祉交流の実施

- ① 新入学児童の授業参観後の交流（1年）
- ② ふれあい動物園（2年）
- ③ 星野富弘さんの生き方や思いから学ぶ思いやり学習（3年）
- ④ 障害者や高齢者等とのふれあい・福祉体験（4年）

- 渡良瀬特別支援学校との交流
- 「かさかけの里」との交流
- 高齢者疑似体験
- 車いす体験
- ブラインドウォーク体験
- 手話・点字体験



車いす体験 4年



小さな命を大切にす児童 2年



思いやり学習の掲示物 3年



「かさかけの里」交流 4年



高齢者疑似体験 4年

⑤ 助産師による命の授業「いのちの大切さを伝える助産師出前講座」（5年）

⑥ 医師から聞く命の授業

「偏見と差別をなくすために—エイズとハンセン病—」（6年）

〈医師から聞く命の授業後の児童の感想〉

・ 病気にかかっている人の「見た目」で、私も他の人と同じように差別してしまうかもしれないと思いました。けれど、この学習を通して、病気の原因やつらさ・苦しさを分かってあげることが偏見や差別をなくすことにつながると思いました。私たちは「誰とでも思いやりをもって接する」という思いやり宣言をしました。これもその中の一つだと思います。この学習を忘れずに、この後の学校生活をよりよくしたいなと思いました。

・ 私の夢は、薬剤師です。今は治すことができない病気でも、薬剤師がその病気が治る薬を作ったら、たくさんの方が助かります。周りの人から差別されることもなくなります。たくさんの方が幸せな人生をおくることができると思います。だから、私は、たくさんの方を助けることができるかもしれない薬剤師になりたいです。今までは何となく薬剤師になりたいと思っていたけれど、町田先生のお話を聞いて、薬剤師になりたい理由がはっきりしてきました。私もいっぱい勉強していきたいです。



医師からのハンセン病の話 6年



ブラインドウォーク 4年

⑥ 特別支援学級児童との交流学习

- 種苗協会による食育プロジェクト
- PTA役員参加によるじゃがいもまつりと教室清掃

(4) ALTとの交流

- ALTによる各教室訪問（給食、清掃、休み時間）
- ALTによる「折り紙クラブ」での交流

(5) 歌声集会に向けた各学級の取組

(6) PTAとの協賛「♡心ゆたかに♡」本物の芸術鑑賞教室

- バイオリンコンサート
- 「時代劇アクション」鑑賞・体験教室



ALTが作成した国際理解の掲示



食育プロジェクト（植ええ）



バイオリンコンサート



2学期の歌「ひまわりの花畑」を歌う